

講義ユニット名	整形外科		所属科目名	器官・システム病態制御学Ⅱ
講義ユニット 責任者	あだち のぶお 安達 伸生	所属	整形外科 (内線 5230)	
		メール	nadachi@hiroshima-u.ac.jp	
講義ユニット コーディネーター	くぼ ただひこ 久保 忠彦	所属	整形外科 (内線 5231)	
		メール	kubot@hiroshima-u.ac.jp	
授業方法	講義形式。パワーポイントを使用して、スライドを呈示しながら進める。			
概要	<p>運動器は、体を支え、動かす組織である骨、関節、筋肉、靭帯、神経などの総称です。運動器の疾患は、新生児、小児、学童から成人、高齢者まであらゆる年齢層に及び、上肢（肩、肘、手）、下肢（股、膝、足）、脊椎（脊柱）・脊髄、骨盤など体の各部位に関連しています。先天性の変形、成長期の障害、スポーツ傷害、交通外傷、加齢による変形性関節症、リウマチ、骨粗鬆症、骨・軟部腫瘍など幅広い領域の疾患があります。治療も薬物療法、理学療法などの保存療法から手術療法に至るまで、幅広い知識と手技が要求されます。本ユニットの講義では、運動器の構造から、運動器疾患の診断、治療に至るまでの実際を理解し、それぞれの疾患に対する基本的な知識を得ることをめざします。</p>			
講義ユニットの 到達目標	<p>脊柱の構成と機能を説明できる。  四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。  骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。  姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。  抗重力筋を説明できる。  運動麻痺・筋力低下の原因と病態生理を説明できる。  運動麻痺・筋力低下をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。  運動麻痺・筋力低下がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。  腰背部痛の原因と病態生理を説明できる。  腰背部痛をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。  関節痛・関節腫脹の原因と病態生理を説明できる。  関節痛・関節腫脹をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。  関節痛・関節腫脹がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。  筋骨格系の病態に即した徒手検査（四肢・脊柱の可動域検査、神経学的検査等）を説明できる。  筋骨格系画像診断（エックス線撮影、コンピュータ断層撮影&lt;CT&gt;、磁気共鳴画像法&lt;MRI&gt;、超音波検査、骨塩定量）の適応を概説できる。  四肢・脊椎外傷の診断と初期治療を説明できる。  関節の脱臼、靭帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。  骨折の分類、症候、診断、治療と合併症を説明できる。  コンパートメント症候群の病態、症候、診断と治療を説明できる。  骨粗鬆症の病因と病態を説明し、骨折の好発部位を列挙できる。  関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。  変形性関節症の症候、診断と治療を説明できる。  絞扼性末梢神経障害（手根管症候群、肘部管症候群等）を列挙し、その症候を説明できる。  頸椎症性脊髄症（脊柱靭帯骨化症を含む）・頸椎症性神経根症の神経症候を説明できる。  脊髄損傷の診断、治療を説明できる。  腰椎椎間板ヘルニアの症候、診断と治療を説明できる。  腰部脊柱管狭窄症の病態、症候、診断と治療を説明できる。  腰椎分離・すべり症の症候、診断と治療を説明できる。  運動器慢性疼痛（腰背部痛、頸部痛、肩こり）の病態、診断と治療を説明できる。  運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。  化膿性関節炎の症候、診断と治療を説明できる。</p>			

	<p>椎間板炎、化膿性脊椎炎、脊椎カリエスの症候、診断と治療を説明できる。</p> <p>移行性骨腫瘍、骨肉腫について概説できる。</p> <p>原発性骨腫瘍（骨肉腫、Ewing肉腫）の臨床所見、画像所見、病理所見、初期治療を説明できる。</p> <p>転移性骨腫瘍の臨床所見、画像所見、検査所見を説明できる。</p> <p>悪性軟部腫瘍（脂肪肉腫）の診断、病理所見、治療を概説できる。</p> <p>スポーツ医学を説明できる。</p>
講義日程	別紙日程表を参照のこと
出席の取り扱い	出席状況把握システムにて毎講義出席をとる。 3分の2以上の出席がない場合は試験（本試験、追試験とも）の受験資格を与えない。
評価項目	到達目標の達成度 （基本的理解と知識の応用）
評価法	MCQ形式にて試験を行う。 本試験における合格基準は60点とする。
推奨参考書	<p>【購入を推奨する参考書】</p> <p>標準整形外科学 共著 第12版 医学書院</p> <p>【その他、学習に有用な参考書等】</p> <p>図解四肢と脊椎の診かた Hoppenfeld著 首藤 貴翻訳 医歯薬出版株式会社</p> <p>整形外科医のための神経学図説 ー脊髄・神経根障害のみかた、おぼえかた</p> <p>-Hoppenfeld著 津山直一監訳 新装版 南江堂</p>